

今日は、たくさんの先生から今年の反省や、来年に向けての心構え、冬休み中の暮らしについてお話があります。

校長先生は、ちょっと違う話をしたいと思います。

スライド1

数字のクイズから始めたいと思います。

まずは、,,,,,1 です。

次はなんだろう、なんだと思いますか？ 2でした。1が大きいですね。

さて、次は？ 6ですよ。

次は？

- ・
- ・

何と、16382になりました。凄い数字ですね。この並びは、なんだと思いますか？

スライド2

それでは、ヒントです。この絵を見てください。 どうですか？

おっ！ここに数字がありますよ。1 2 6 1だけ やけに大きいですね。

あれっ！ 横には、何か書いてありますよ。

スライド3

次の絵を見てみましょう。

また数字がありますね。 横の字も、何か変わりましたよ。

一番最初に帰ってみましょう。

もうわかりましたね。この数字は、あなた方がこの世に生まれるまでにつながってきた命の数なんです。そう、一番身近なところから考えると、あなたが生まれるまでには、お父さんとお母さんの命が必要ですね。いろいろ事情があって、お父さんやお母さんと一緒に暮らせない人もいますが、君たちがここにいるということは、必ずお父さんとお母さんの命がつながっているということなんです。その上は、おじいちゃんおばあちゃんですね。

そういうふうに考えていくと……、次の絵を見てください。

スライド4

こうなるんです。

2-6-14-30-62 という数字なんです。

ですから、君につながっている命は、……………

スライド5

20代さかのぼれば 104万8千2百86人ということになります。 凄いですね。君たちが、ここに

いるということは、奇跡に近いんですよ。ついこの前、日本は戦争をしていました。たくさんの方々が、戦争によってなくなりました。もし、君につながっている方が戦争でなくなっていたとしたら……君たちはここにはいないことになるんですよ。

逆に考えると、あの戦争がなかったら、君の隣にいるともだちはもっとたくさんいるのかもしれないんです。

それにしても、104万8千2百86人という数は凄いですね。5年生に問題です。熊本県の人口はどのくらい知っている人？

校長先生は調べてみました。見てください。

177万4千4百46人だそうです。ちょっと多いですが、だいたい同じくらいの数字になったでしょう。つまり、極端ですが、熊本県中の人には君たちの親戚かもしれないんですよ。なんか、喧嘩したり、時にはいじめがあったりすることがばかばかしくなりませんか。

スライド6

そこで、最後にみなさんに二つのお願いがあります。

まず一つ目は、こんなにたくさん命がつながってきて今の君があるのです。自分を大切にしてください。自分の命を大切にしてください。

そして、二つ目は、自分のことと同じように、友だちのことも大切にしてください。友だちの命も、たくさん命がつながってきた命なのです。みんな大切な命です。

友だちのいやがることをしたり、友だちの気持ちが沈むような言葉をかけたりしないでください。

命と命が、優しく思いやることのできる横島小の子になってください。

スライドで1を大きくしていたのは、今生きているみなさんの一つ一つの命を大切にしたいという意味もありました。

お正月がやってきますね。親戚も集まるかもしれません。みんなのことを大切に思ってくれる人が、優しい言葉や時には厳しい言葉をかけてくれるかもしれません。

そういうとき、校長先生のこのお話をふっと思い出してくれたら嬉しいです。